

自然をまもって、住みやすい地球に

未来のために
できること

Zero Carbon
Yokohamaに
ついては
2・3ページへ

Rich Carey/shutterstock.com



市長だより

今年の夏はきびしい暑さが続き、日本中のあちこちで、集中豪雨や台風などの被害がありました。このような異常気象や自然災害の原因ともいわれるのが地球温暖化で、私たちの命にかかわる深刻な問題です。いまでは「地球沸騰化」とまでいわれる温暖化を止めて、つぎの世代によりよい環境を残さなければなりません。横浜市では、二酸化炭素などの温室効果ガスを減らすことに全力でとりにかかっています。

8月からは、環境にやさしいエコな暮らしを応援するために、「エコハマ」という名前のキャンペーンを始めました。エコ家電を買うと、その金額の最大20%がポイントでもどってきます。また、省エネ性能がもっと高い住宅に住みかえると、最大100万円の補助がうけられます。

さらに2024年10月からは、市内の9つの区でプラスチックごみの分別リサイクルの範囲をひろげます。現在、ストローや歯ブラシなどは、燃えるごみとして捨てら

れています。これからは、そういうプラスチックだけでできた製品もリサイクルして、二酸化炭素の排出を大きく減らしていきます。地域のみなさんによく説明しながら、市全体にひろげていきます。

環境危機という地球レベルの大きな問題に立ちむかうには、みなさんひとりひとりの行動がとても大事です。電気をこまめに消す、マイバッグを使う、使い捨てのプラスチック製品は使わないなど、暮らしの中ですぐに実行できます。未来のために、いっしょに行動しましょう。

2027年には、横浜で初めての万博「GREEN×EXPO 2027」を開きます。温暖化などの地球全体の問題をいっしょに考え、自然の力を生かした脱炭素社会のすがたを見せる博覧会です。市民のみなさんとつみあげた環境危機への行動の成果を横浜から世界に発信していきましょう。

横浜市長 山中竹春

しぜん ちきゅう
自然をまもって、住みやすい地球に

Zero Carbon Yokohama

よこはまし だつたんそ か
横浜市では2050年までの脱炭素化をめざしています

今年の夏は、「地球沸騰化」といわれるほど、ものすごい暑さが続いて、あちらこちらで集中豪雨や大型台風の被害がありました。温暖化が進むと、このような異常気象や自然災害がふえます。「気候危機」とよばれるような状態になって、生態系・自然環境にも影響が出ます。住みやすい環境を未来につないでいくために、できることを考えてみませんか。

だつたんそ
脱炭素って
なに？

二酸化炭素(CO₂)をはじめとする温室効果ガスの排出量から、森林管理などによる吸収量を引いて、実質的に排出ゼロをめざすことです。人や企業が活動すると温室効果ガスが大量に排出されて、それが大気中の熱を閉じこめるために温暖化が進むといわれています。

毎日の
せいかつ
生活から
始めよう！

かてい 家庭でできる だつたんそ 脱炭素のとりくみ

毎日の生活で家庭から出る家電などのCO₂排出量は、市全体の排出量のおよそ30%になり、いちばん高い割合を占めています。*

暮らしの中で生活習慣を見なおすことが、地球温暖化対策につながります。脱炭素で地球にも人にもやさしく、快適な暮らしをめざしましょう。

※2021年度横浜地域の温室効果ガス排出量(速報値)

【きくところ】温暖化対策統括本部調整課

TEL:045-671-4884 FAX:045-663-5110

イラスト中の数値は年間のCO₂削減量です。

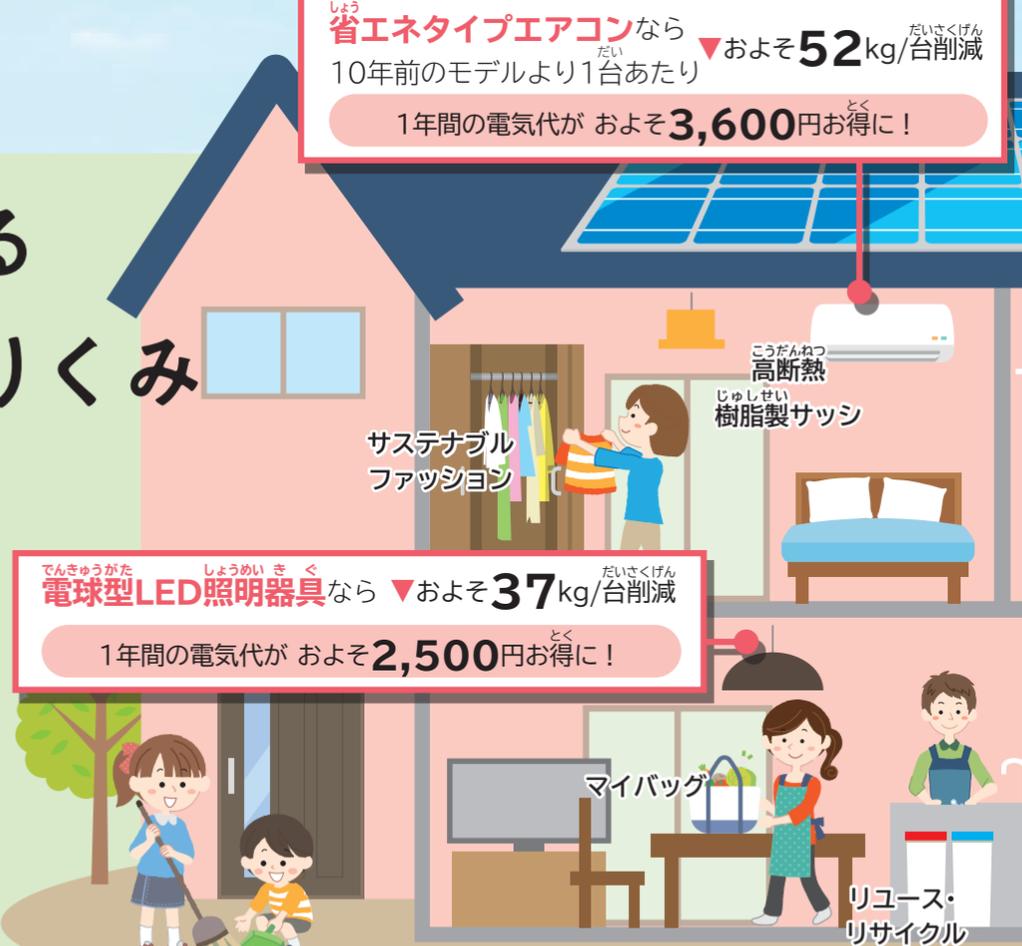
イラスト中の数値の出どころ…【エコ家電(エアコン・冷蔵庫・LED照明)】「スマートライフおすすすめBOOK2022年度版」(一般財団法人家電製品協会)をもとにして、エコハマの対象になる商品(2023年4月の時点)の平均値とくらべて作成。【エコ家電以外】「ゼロカーボンアクション30」(環境省)

しょう
省エネタイプエアコンなら ▼およそ52kg/台削減
10年前のモデルより1台あたり

1年間の電気代が およそ3,600円お得に！

でんきゅうがた
電球型LED照明器具なら ▼およそ37kg/台削減

1年間の電気代が およそ2,500円お得に！



じっごう
実行しましょう！



す 使い捨てのプラスチックをみんなでへらしましょう

プラスチックを燃やすと、温室効果ガスがたくさん排出されて、地球温暖化の要因になります。くり返し使える製品を使うことが大切です。

【きくところ】資源循環局3R推進課 TEL:045-671-3593 FAX:045-550-3510

使い捨てのスプーンやフォークは、
使う分だけうけとりましょう



お箸やスプーンを用意するなど、
くり返し使える製品を使いましょう



く 2024年10月から9つの区*で プラスチックごみの分別の範囲をひろげます！

※旭区、泉区、磯子区、金沢区、港南区、栄区、瀬谷区、戸塚区、中区

現在は「プラスチック製容器包装」を分別収集しています。それに加えて、ストローや歯ブラシ、ラップなど、プラスチックだけでできた製品を「プラスチック資源」としていっしょに回収してリサイクルしていきます。2025年4月からは市全体で行います。くわしいことは、これから説明会などでお知らせします。

【きくところ】資源循環局政策調整課 TEL:045-671-2503 FAX:045-550-4239



省エネ性能が高いエコ家電に買いかえませんか

エコハマ(横浜市エコ家電応援キャンペーン)実施中

家電製品(=家で使う電気器具)の省エネ性能は、年々よくなっています。長く使っている家電を最新のエコ家電に買いかえれば、電気代がやすくなるだけではなく、温暖化対策にも大きな効果があります。

【もうしこみのしめきり】2024年1月31日(水)まで(その前に予算の上限になると終わります)

【あてはまる家電】決まった省エネ基準にあてはまるエアコン、冷蔵庫、LED照明器具

【もどってくる金額】本体購入価格(税抜)の20%(一台あたり3万円分まで)がポイントで返ってきます

【きくところ】エコハマお客様専用コールセンター
TEL:045-900-3750(2024年2月14日まで、毎日10:00~18:00) FAX:045-277-1422(耳が不自由な人専用)



詳しいことはこちら



子育て世代の省エネ住宅への住みかえを応援します

省エネ住宅住みかえ補助実施中

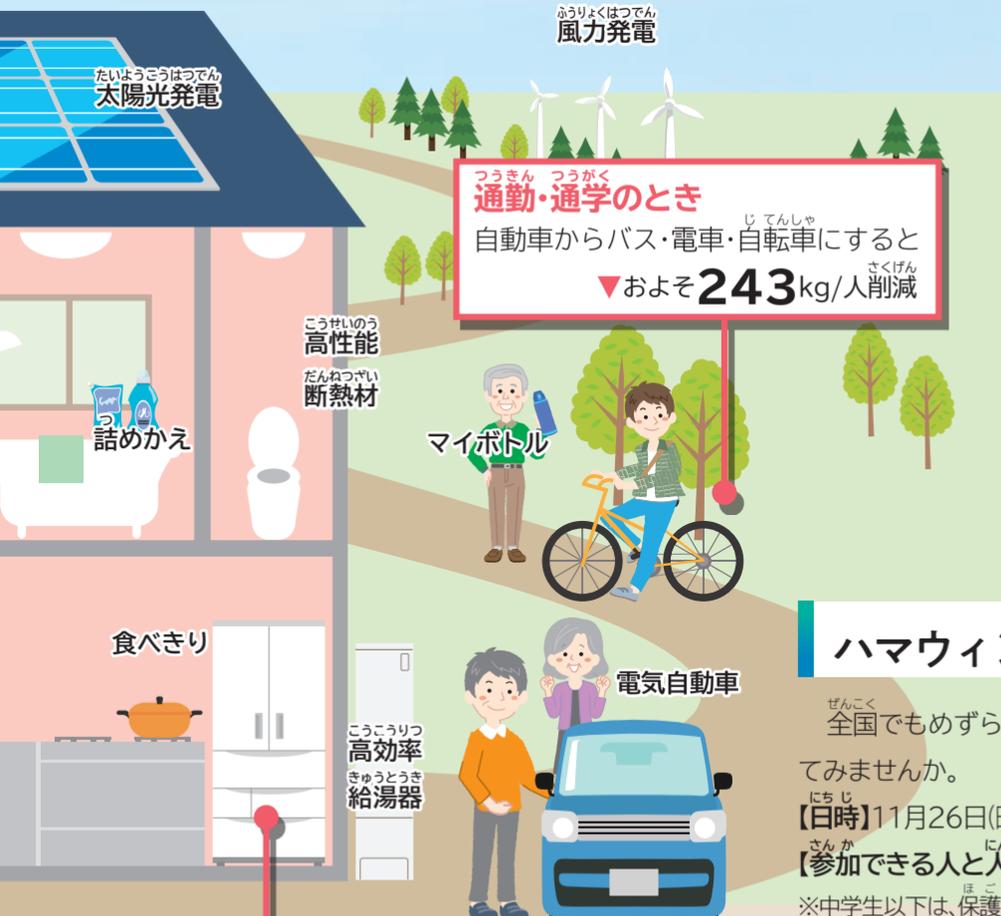
高断熱・高气密な省エネ住宅は、少ない冷暖房で家中の温度差を少なくすることができます。1年中快適に、そして経済的に暮らせます。補助がうけられる条件など、詳しいことはウェブページで見てください。

【補助額】最大100万円(基礎額70万円+市外から引っこしてくる場合はさらに30万円)

【きくところ】建築局住宅政策課 TEL:045-671-2922 FAX:045-641-2756



詳しいことはこちら



ふりよけはつでん 風力発電

たいようこうはつでん 太陽光発電

高性能 断熱材

マイボトル

電気自動車

食べきり 高効率 給湯器

まとめかえ

通勤・通学のとき
自動車からバス・電車・自転車にすると
▼およそ**243kg/人削減**

省エネタイプ冷蔵庫
なら10年前のモデルより
▼およそ**88kg/台削減**
1年間の電気代が およそ**6,000円**お得に!



市民1人あたりが、1日に家庭から出すCO₂は3.4kg(500mlペットボトルおよそ3,400本分)になります。

生活の中の小さな心がけは、脱炭素に大きく役立ちます。

CO₂ 3.4kg = ペットボトル(500ml) 3,400本分

※市の家庭部門の温室効果ガス排出量(465万トン/2021年度)から計算

ハマウイング秋の見学会を開きます

全国でもめずらしい都市型立地の大型風力発電所を近くで見てください。

【日時】11月26日(日)9:00~13:30ごろまで(4回行います)

【参加できる人と人数】ちゅうせんでおよそ280人
※中学生以下は、保護者(高校生以上)といっしょに来てください。

【もうしこみしめきり】11月15日(水)までにウェブページで

【きくところ】環境創造局環境エネルギー課
TEL:045-671-2681 FAX:045-550-3925



詳しくはこちら



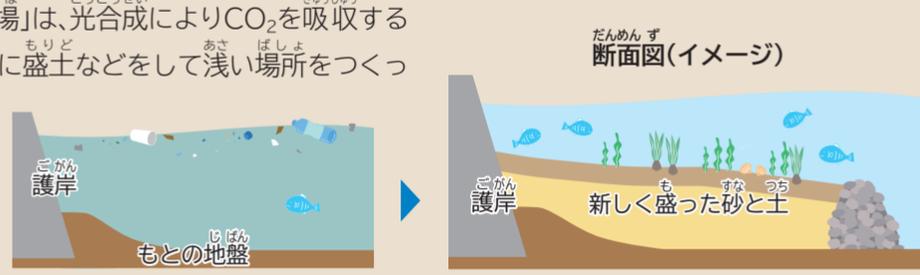
広報よこはまPlusでハマウイングについての記事が読めます。



環境にやさしい港づくりをすすめています

臨港パーク(西区)では、「藻場・浅場」の整備をしています。「藻場・浅場」は、光合成によりCO₂を吸収する「ブルーカーボン」として機能します。光がたくさんとどくように、海底に盛土などをして浅い場所をつくって、そこにアマモや貝などが生息できるようにします。すると赤潮(=プランクトンがふえて水が赤く見えるようになる)の原因になる窒素やリンを吸収し、水質が改善します。また、稚魚(=魚の子ども)が育つ場所、産卵の場所となって、生物多様性を向上させます。

【きくところ】港湾局整備推進課 TEL:045-671-7342 FAX:045-550-3598



アフリカの開発をテーマにした重要な国際会議がまた横浜に

第9回アフリカ開発会議(TICAD9)が2025年に横浜で開催されることになりました！

横浜市はこれまでに3回TICADの開催地に選ばれて、小・中学校とアフリカの国々との交流や、国際技術協力などをとおして、アフリカとの関係を深めてきました。

2025年のTICAD9が安全にスムーズに行えるように準備をします。そして、これまでのとりくみで育ててきたアフリカとのつながりや、GX※による持続可能な都市の実現のためのとりくみを未来につなげていきます。

※「グリーン・トランスフォーメーション」の略。脱炭素にとりくむことと、経済を元気にすることを一緒にやり、持続可能な未来をめざすとりくみ



▲横浜市の小学生から手紙と折り紙をうけとったマダガスカル共和国の子どもたち

アフリカ開発会議(TICAD)とは

日本政府が中心になって、国連、国連開発計画(UNDP)、世界銀行、アフリカ連合委員会(AUC)と共同で開く国際会議です。GXやSDGsなどをふくめて、アフリカの開発をテーマにして話し合います。

2019年に横浜で開かれた第7回会議には、アフリカの国々や国際機関など世界中から1万人以上が参加しました。

きくところ 国際局国際連携課 TEL:045-671-4704 FAX:045-664-7145



海、港、緑、歴史、地域、人々など、さまざまな魅力を持つ横浜。このまちの彩りを「よこはま彩発見」として届けていきます。

今月は横浜でいちばんのスポーツイベント「横浜マラソン」についてです。

市民の熱い思いで生まれたマラソン大会

横浜マラソン組織委員会事務局



横浜マラソンは、横浜ランドマークタワーからスタートし、市内の観光名所や首都高速道路をかけぬけます。今では神奈川県内で最大規模の市民マラソンのひとつとして知られていますが、横浜マラソンが市民の署名活動から始まったことを知っていますか。

1980年、世界的に市民マラソンブームが広がるなかで、横浜でマラソン大会をしたいという市民が中心となって、署名活動が始まりました。署名活動は県内だけでなく、日本中によびかけられました。集まった署名はなんと103,741人。その結果、1981年に第1回横浜マラソン大会が開かれることになりました。

最初は10km・20kmの2種目でしたが、第12回大会からはハーフマラソンが始まり、第33回まで続けました。そして、フルマラソンもしたいという多くの人の希望から、2015年にフルマラソンとして新しく横浜マラソン2015が開かれました。

そんな市民の熱い思いで生まれた横浜マラソンが、今年も10月29日(日)に行われます。こんどの大会から、ペアリレー、ファンラン(ファミリー)、ファンラン(中学生)の3つの種目が新しく加わります。また給水所ではさまざまな給水パフォーマンスも予定されています。ランナーだけでなく、よりたくさんの人を楽しんでもらえる大会です。近くに住んでいる人は、ぜひ沿道でランナーを応援してください。



▲1981(昭和56)年11月 第1回大会

横浜マラソンをとおして横浜とスポーツの魅力を再発見してみませんか。

きくところ 横浜マラソン組織委員会事務局 TEL:045-651-0666 FAX:045-226-5037

10月~

新型コロナ感染症コールセンターの
うけつけ時間が変わります。

24時間▶8:00~20:00(毎日)

TEL:0120-547-059

この時間以外の救急相談は救急相談センターへ TEL:#7119 または TEL:045-232-7119 (ダイヤル回線・IP電話はこちら)



データで子どもたちの あんぜん 安全を守る!!

横浜市では、「子どもの通学路交通安全対策事業」による安全・安心なまちづくりを進めています。今年3月には、警察の交通事故データを使った「**子ども・交通事故データマップ**」を公開しました。1日に4,500回ぐらい使われています。小学生・中学生の交通事故が起きた時間帯・天候など、どんな事故だったのか確認したり、その場所をストリートビューで見ることができます。ぜひ、**家庭でも、危険な場所を確認するために、使ってください。**

引用:Googleマップ

▽2021年
2021年 小学生関係事故
発生月 12月
発生時 17時台
曜日 月
発生場所 横浜市区〇〇町1丁目2番
事故類型 人対車両-その他横断中
道路形状 交差点・その他
天候 雨
当事者種別1 自転車
当事者種別2 歩行者

イメージ図

データマップはこちら



学校での交通安全のとりくみに利用しています



スクールゾーン対策協議会のようす

学校へ行く道の安全をまもるため、地域・小学校・行政が協力

それぞれの小学校のスクールゾーン対策協議会※では、学校に行く道の安全を確認しています。土木事務所・区役所・警察と協力して、交通安全対策を進めています。

※保護者や自治会・町内会、老人クラブ、交通安全協会などのメンバーがつくる協議会。子どもの交通安全対策を進めます。

交通安全対策の例



交差点の事故が多いので、安全対策が必要



交差点をカラー化



ドライバーから交差点がわかりやすい!

きくところ 子ども・交通事故データマップについて
学校での交通安全のとりくみについて

道路局交通安全・自転車政策課
教育委員会事務局学校支援・地域連携課

TEL:045-671-2323 FAX:045-663-6868
TEL:045-671-3278 FAX:045-681-1414